

多摩信用金庫の環境への取り組みについて

環境に配慮した地域社会の実現をめざして

たましんが営業を展開する多摩エリアは、本店がある立川を中心に商業施設や公的機関が集まり都市化が進む一方、多摩を東西に流れる多摩川、高尾山・奥多摩の山々など緑豊かな自然が地域のくらしに欠かすことのできないものとなっています。

その豊かな自然環境の保全と、環境問題に対する地域金融機関としての社会的責任を果たしていくために、たましんでは2007年9月に「環境対策委員会」を設置し、環境負荷低減への積極的な取り組みを進めてきました。

2020年3月には、多様化・複雑化する社会課題の解決に向けて、SDGs・ESG戦略検討委員会を組成しました。たましんのビジネスモデルを踏まえたうえで、SDGsやESGの要素を取り入れて取り組んでいます。



【地域社会との関わりの中での取り組み】



<環境ボランティア（里山保全）活動への参加>

役職員が環境保全の意義と大切さを楽しみながら体験する取り組みとして、地元の里山保全協議会の協力のもと、役職員向け「環境ボランティア（里山保全）活動」を八王子の宇津貫緑地とあきる野市横沢入にて実施しています。

若手から家族連れの職員まで幅広く参加し、しいたけの駒打ちや伐採後の丸太運び、外来種セリバヒエンソウの抜取などの里山保全活動を行っています。



※新型コロナウイルス感染拡大を受け、現在はボランティア活動への参加を見合わせています。



【たましん自身の取り組み】



<省エネ設備の導入>

たましんでは環境に配慮した省エネ設備の導入を計画的に行っております。

2020年5月に移転した新本店・本部棟では、地域冷熱を活用した高効率なエネルギー供給システム、LED照明や雨水利用等省エネ設備を導入しました。



The Tama Shinkin Bank

＜金庫内での事務用品リユース運動＞

本部の余剰事務用品を取りまとめ、配付希望の営業店へ分配しています。

以前から実施している年次のリユース活動に加え、使用頻度の高い事務用品について、2016年5月から月次のリユース活動を開始しました。

毎回多くの営業店より希望が集まっており、限られた資源を有効に使うための取り組みとなっています。

【環境に配慮した印刷物等の採用】

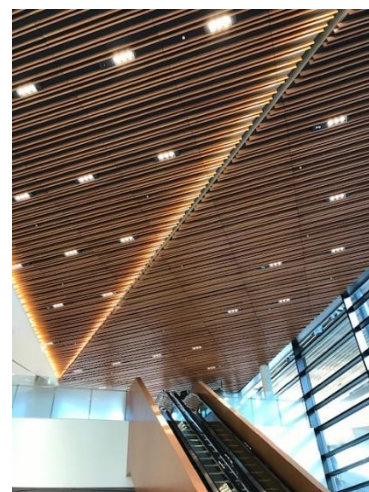
パンフレットやチラシ、ディスクロージャー誌などにおいて、ベジタブルインクやFSC認証などを積極的に採用し、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。また、一部の現金封筒については、銀行券裁断くず30%を使った紙を使用し、紙幣の再利用に努めています。

【役職員に対しての環境意識の啓蒙活動】

たましんでは、SDGs・ESG戦略検討委員会において、環境負荷低減活動の推進および環境意識向上に向けて「SDGs・ESG戦略検討委員会 News」を四半期ごとに発行し、役職員へ環境に関する情報提供を行い、意識の醸成を図っています。当該Newsでは、環境問題のみならず、様々な社会課題に対する記事を掲載し、役職員の社会問題への意識向上を図っています。

【新本店・本部棟での多摩産材の活用】

多摩地域の緑豊かな自然環境を保護していくため、新本店・本部棟の天井や壁面の一部に多摩地域で生産された木材である「多摩産材」を活用しています。多摩産材を活用することで、森林の適切な手入れ(間伐等)が可能となり、多摩地域の自然環境保護に繋がります。



環境への取り組みはホームページにも掲載していますので、ご覧下さい。

https://www.tamashin.jp/about/environment_index.html